

事業番号	029
------	-----

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	集会施設整備事業						担当部	市民産業部		
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	生活交流課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	生活相談係		
	総合計画 分野別計 画	主目的	1 市民生活		1 地域コミュニティ		1 自治会活動を支援する				
		副目的									
	予算区分	款	2	項	7	目	1	大	5	中	2
	根拠法令・個別計画	防衛施設周辺対策事業補助金等交付規則、特定防衛施設周辺整備調整交付金交付要綱									
	実施・運営 方法	<input type="radio"/> 市が直接実施・運営				地域住民組織					
				指定管理・外郭団体		名称:					
				NPO・その他		名称:					
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	地域の健全な育成を推進するため、地域コミュニティ活動及びレクリエーション活動環境を整える。										
内容 (手段)	地域住民がコミュニティ活動や各種事業にあたるための環境を整備するため、防衛施設関係交付金を受け集会施設の改修工事を行ったほか、一層の地域活動環境向上のため、施設の修繕等を実施した。 環境に配慮したエコ事業(太陽光発電等)のモデルとして太陽光発電を導入したほか、バリアフリー化、空調機取替え、外壁修繕、下水道接続などコミュニティ活動が実践しやすい環境整備を行った。 下水道接続工事については、設計業務が完了したので、平成22年度中に工事を実施する。										
受益者負担	有	内容		既存の市所有の集会施設の増築工事を実施する場合、地元負担金として当該工事費の3分の1(地域によっては4分の1)を支払う。							

			単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額
	コスト	直接経費		千円	67,102	47,297
正職員		従事者数	人	0.15	1.00	1.00
		人件費	千円	804	5,365	5,365
その他職員		従事者数	人	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0
費用合計		千円	67,906	52,662	71,199	
対前年比		%		77.5		
財源	一般財源		千円	49,906	24,662	45,123
	国・県支出金		千円	18,000	28,000	20,000
	その他財源		千円	0	0	6,076

業 績	活動指標	活動指標名		単位	H21	H22	H23	
		国庫利用工事数	箇所	目標		2	2	2
				実績		2	2	
		集会施設工事数(国庫対象分除く)	箇所	目標		7	1	7
				実績		6	2	
				目標				
	実績							
	成果指標	成果指標名		単位	H21	H22	H23	
		延べ集会施設利用回数	回	目標	26,000	26,500	26,500	
				実績	25,782	25,854		
			目標					
			実績					

事業の自己評価 (一次評価)	事業目的の達成状況	<p>小針入鹿新田会館及び郷中会館については、特定防衛施設整備費補助金を受けて空調機の更新、バリアフリー対策及び太陽光発電システムの導入を行い、地域活動の拠点として利用しやすい環境を整えることができた。</p> <p>南外山会館については、下水道接続工事を行い、会館を快適に利用できるよう整備した。</p> <p>また、平成20年度に測量調査を行った大山会館裏斜面の土砂改良工事を行い、会館を安全に利用できる環境を整えた。</p>		
	事業を廃止・休止したときの影響	<p>地域活動の拠点となる施設の整備が不可能になり、会館利用者となる市民に不安や負担をかけることとなる。</p>		
	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)	
	判定理由	<p>行政区の体力は、各区における人材確保のほか、地域活動を充実させることにより力強いものとなる。その各種活動の拠点となる集会施設を、安心してまた安全に利用することができるよう、市で整備していく必要があるため。</p>		
	今後の事業の方向性 (今後の取組み・改善計画等)	<p>集会施設管理者から提出される要望に基づき改修等を実施するほか、全般的に施設が老朽化しているため、計画的に改修工事を実施していくこととする。</p>		

二次評価	判定	B	市が実施(改善が必要)
	判定理由	<p>集会施設の改修については、ファシリティーマネジメントの視点で計画的に取り組む必要があるため。</p>	